



Title	日本中央アジア学会2021年度大会プログラム
Citation	日本中央アジア学会報, 18, 42-44
Issue Date	2022-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/91618
Type	other
File Information	JB18_005amprogram.pdf



[Instructions for use](#)

日本中央アジア学会 2021年度大会プログラム

■概要

日程：2022年3月20日(日)～3月21日(月・祝)
場所：オンライン(会議アプリケーションZoom)

■プログラム

● 3月20日(日)

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～15:45 個人発表①

司会：坂井弘紀(和光大学)

松元晶(北海道大学)

「1960年代カザフ映画に映されるナショナル・アイデンティティ——『テュベテイカをかぶった天使』を一例として——」

討論者：帯谷知可(京都大学)

加藤優弥(筑波大学)

「カザフスタン非核外交の展開——核不拡散規範の受容から構築まで——」

討論者：湯浅剛(上智大学)

16:00～17:30 パネルセッション①

「中央アジア・オアシス研究の今後——堀直著『清代回疆社会経済史研究』の出版を記念して——」

趣旨説明・司会：小沼孝博(東北学院大学)

澤田稔(富山大学)
「堀直先生の経歴と業績」

小沼孝博(東北学院大学)
「『清代回疆社会経済史研究』の出版とその意義」

塩谷哲史(筑波大学)「論評①：水利と文書研究の観点から」

木村暁(東京外国語大学)「論評②：オアシス都市研究の観点から」

● 3月21日(月・祝)

9:00～12:00 個人発表②

司会：梅村坦(東洋文庫)

星野愛花里(北海道大学)
「キルギスにおける農民組織の類型化と発展課題」

討論者：渡邊三津子(奈良女子大学)

入山美保(筑波大学)
「キルギス共和国の日本語学習者の留学経験と進路選択」

討論者：伊澤映子(桃山学院大学)

ローザ・トクトスノワ(東京大学)
「ポストソビエトキルギスの農村若年の高等教育への移行——追跡インタビュー調査を通じて——」

討論者：二瓶直樹(早稲田大学)

12:50～13:40 日本中央アジア学会総会

13:45～15:45 個人発表③

司会：磯貝真澄(千葉大学)

楊曦晨(筑波大学)
「1850年代清朝の対ロシア政策——伊犁通商条約締結の背景を中心に——」

討論者：中村朋美(日本学術振興会(京都大学))

志田夏美(京都大学)

「中央アジア絨毯コレクションの形成——帝政期およびソ連期の民族学的調査の比較——」

討論者：今堀恵美(東海大学)

16:00～17:30 パネルセッション② 公開

「マイノリティ研究の新天地——ユーラシア近現代史の多声的再構成に向けて——」

趣旨説明・司会：秋山徹(早稲田大学)

秋山徹(早稲田大学)

「マイノリティの歴史叙述——サルトカルマクの歴史書を翻訳して——」

植田暁(アジア経済研究所)

「ソ連初期の「ウズベク人」創出におけるマイノリティ集団」

田村うらら(金沢大学)

「マイノリティから汎テュルク主義のアクターへ——トルコにおけるユルックの現在——」

討論者：野田仁(東京外国語大学)

※共催

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題「近代中央ユーラシアにおける歴史叙述と過去の参照」(研究代表者：野田仁(東京外国語大学))

科研費基盤研究(B)「牧畜社会におけるエスニシティとエコロジーの相関」(研究代表者：シンジルト(熊本大学)、課題番号17H04538)

*発表者、司会者、討論者の所属はいずれも発表時のものです。